

防除情報

長崎県病害虫防除所長

令和元年度病害虫発生予察 防除情報第16号

きゅうり 退緑黄化病の防除対策について

きゅうりにおいて退緑黄化病の発生が多い傾向にあり、今後発生拡大が懸念されます。下記の点に留意して防除指導をお願いします。

記

1. 発生状況

- (1) 12月前期の巡回調査(9筆)の結果、発病株率は2.2%(平年0.1%)、発生圃場率は66.7%(平年5.3%)と多い発生であった(図1、2)。

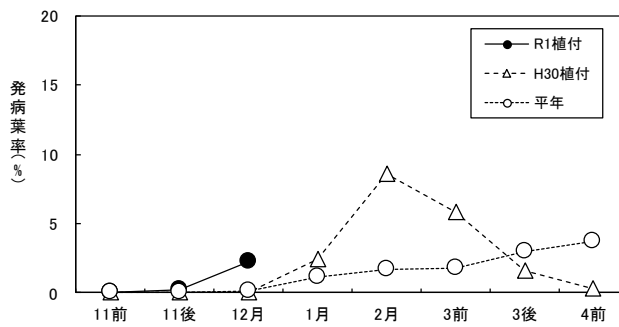


図1 きゅうり退緑黄化病 発病率の推移

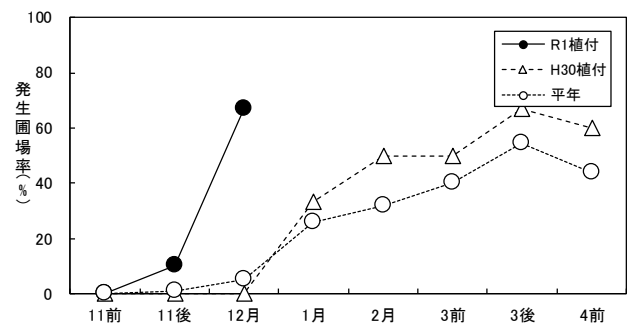


図2 きゅうり退緑黄化病 発生圃場率の推移

2. 防除対策

- 発病株は見つけ次第抜き取り、適正に処理する。ハウス周辺に捨てることは絶対にしない。
- 病原ウイルスはCCYV(ウリ類退緑黄化ウイルス)で、タバココナジラミによって媒介される。本ウイルスは経卵伝染、汁液伝染、土壌伝染、種子伝染はしないので、タバココナジラミの防除を徹底する。
- ハウス開閉部に防虫ネットを張り、タバココナジラミの侵入を防ぐ。
- 黄色粘着トラップを施設内に設置してタバココナジラミの早期発見に努める。
- 収穫後の残渣やハウス周辺の雑草はタバココナジラミの生息、増殖源となるので適正に処分する。
- タバココナジラミの薬剤抵抗性発達防止のため、同一系統の薬剤の連用はしない。

○長崎県病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「長崎県病害虫防除所ホームページ」 アドレス：<http://www.jpnp.ne.jp/nagasaki/>

○この情報に関するお問い合わせ

長崎県病害虫防除所 TEL：0957-26-0027

